

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（5月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名：墨崎有美

5月になり、連日日差しの強い日々が続いています。暑さからか、ドリンクスタンドに通う頻度も増えました。ほぼ毎日、大学横の「果之覇」というフルーツジュース屋で、ジュースかカットフルーツを買っています。台湾はタピオカミルクティーだけではなく、フルーツジュースもとても新鮮で美味しいです。今月の報告書では、学習面、休日の過ごし方、PBL活動について書きます。

1. 中国語習得に向けて

3カ月が経過しても、相変わらず中国語は難しいです。授業スピードも少し早いと感じ、予習、復習にもっと時間をかけなければなりません。しかし、少しずつ中国語での会話ができるようになってきました。週に1度は、台湾人の学生と食事をし、中国語で会話をします。私のおぼつかない中国語を、優しい友人たちは最後まで聞いてくれて、本当に感謝しています。言語習得において、アウトプットは間違いなく大事です。1回1回の会話の中で、少しでも多く学んだ文法や単語を使うよう心掛けたいです。



2. 休日の過ごし方



あと1カ月で留学も折り返し地点ということで、勉強だけではなく、観光もしなければと思います。土日のどちらかは出かけるようにしています。台湾人の友人たちと出かけることもあります。この間、出かけた時には、初めて台湾名物の臭豆腐を食べました。美味しくはないです。興味があれば、ぜひ食べてみてください。良い経験にはなります。観光名所である、故宮博物院にも行きました。そこら中日本人観光客ばかりで、久しぶりにあんなにたくさんの日本語を聞きました。広すぎて半日で全て見ることは不可能だったので、1階と2階の半分と有名な白菜と肉片を見て帰りました。学生は入場無料なので、残りは後日見に行きます。6月の週末の予定も決めているので、いろいろな所に足を運ぼうと思います。



3. 台中での職業体験

PBL 活動として 5/18、19 の 2 日間、台中の「AVALONG」という会社で職業体験をしてきました。内容は、機械の取扱説明書の中国語と英語から日本語への翻訳作業や、招待状の作成、工場見学などです。グローバル人材として働く姿を間近で見、自分が働きたいと思っているフィールドがどれだけ大変な場所なのか、ひしひしと感じ、言語だけでいても全く意味がないというのがよく分かりました。改めて、自分が今何をすべきかしっかりと考える必要があります。2 日間で多くのことを学び、本当に良い経験ができました。この経験を今後の留學生活や、就職活動で生かしたいです。

